令和2年度 美浜町の 決算報告

9月1日に開会された令和3年第5回町議会定例会で令和2年度の決算が認定されました。

今月号では、令和2年度に皆さんから納められた税金や、国または県からの収入がどのように使われたのかを報告します。

一般会計

実際の決算額は円単位ですが、分かりやすくするために万円単位で表示しています。

美浜町の３つの財布

町には、お金を出し入れするために3つの財布があります。

① 一般会計

町の基本的な行政サービスを行うために必要なお金を出し入れする財布で、通常はこの財布にお金を入れたり、そこから払ったりしています。(2～3頁)

② 特別会計

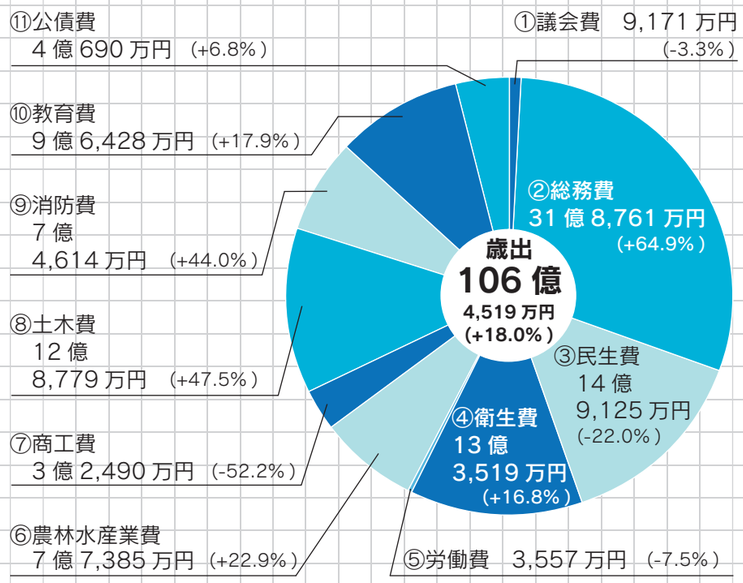
特定の事業を行うために必要なお金を出し入れする財布です。この財布の中は、10個に仕切られており「診療所事業」や「国民健康保険事業」等があります。(4頁)

③ 企業会計

一般の会社と同じ会計方式をとる財布です。現在、町には1つだけ「上水道事業会計」という会計があります。(4頁)

歳　出

※(　)は対前年比



町民１人あたりに使われたお金
（令和３年３月31日時点の人口9,176人で計算）
約 116 万円

歳出の用語説明

①町税･･･町民税、固定資産税、軽自動車税等、町に納められる税金

②分担金及び負担金･･･一定の事業により特別な利益を受ける者からその事業に要する経費の全部または一部を受益に応じて徴収するお金

③使用料及び手数料
使用料･･･総合体育館等、公の施設の使用料等
手数料･･･税の証明や住民票の交付等の手数料

④寄附金･･･個人･団体から贈与されたお金

⑤繰入金･･･一般会計･特別会計･基金等の会計間で相互に資金運用するお金

⑥諸収入･･･ほかの収入科目に含まれない収入で、延滞金や預金利子、雑入等

⑦その他･･･財産収入、繰越金

⑧地方譲与税･･･地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、森林環境譲与税、地方道路譲与税

⑨各種税交付金･･･利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金

⑩その他交付金･･･地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

⑪地方交付税･･･地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるよう、財政状況に応じて国から交付されるお金

⑫国庫支出金･･･国が公益性を認め、その事業を実施するために国から交付されるお金

⑬県支出金･･･市町村の特定の事業等の経費に対して県から交付されるお金

⑭町債･･･各事業を行うために町が借り入れるお金

歳出

①議会費･･･議会活動にかかる経費

②総務費･･･自治振興、広報、戸籍、統計、選挙等にかかる経費

③民生費･･･児童福祉･障がい者への福祉サービスや老人福祉の増進、保育園の管理･運営にかかる経費

④衛生費･･･保健衛生、ごみ処理等、衛生的な生活のためにかかる経費

⑤労働費･･･労働者への貸付等にかかる経費

⑥農林水産業費･･･農林水産業の施設整備･振興や農業委員会の運営にかかる経費

⑦商工費･･･中小企業の振興育成･雇用促進、観光振興にかかる経費

⑧土木費･･･道路･橋･河川･町営住宅の管理や都市計画にかかる経費

⑨消防費･･･消防署や水防･防災対策にかかる経費

⑩教育費･･･小中学校の管理･運営、体育施設の管理運営、社会教育、学校給食にかかる経費

⑪公債費･･･地方債の元金及び利子の支払いにかかる経費

新型コロナウイルス感染症関連事業や大型事業の実施に伴う増額

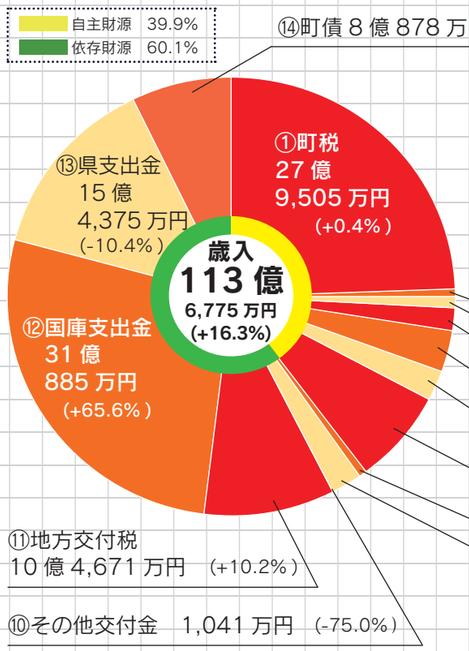
令和2年度一般会計の歳出決算額は、106億4,519万円で、前年度と比較すると、16億2,427万円の増額となりました。

増額の主な要因として、総務費では特別定額給付金事業や庁舎改修事業の実施、にぎわい創出基金の積み立て、土木費ではスマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業といった大型事業の実施が挙げられます。

一方、民生費では、保健福祉センター大規模改修事業の完了等による4億2,065万円の減額、商工費ではレインボーライン山頂公園のリニューアル事業の完了や企業誘致促進事業、三方五湖ゾーン整備事業等の減少により3億5,528万円の減額となりました。

歳　入

※(　)は対前年比



町税の内訳

名　称		金　額	対前年比
町民税	個 人	4億6,894万円	−2.5%
	法 人	2億1,620万円	+27.0%
小　計		6億8,514万円	+5.2%
固定資産税		20億326万円	−1.2%
軽自動車税		3,686万円	+7.2%
たばこ税		6,761万円	−2.4%
入湯税		218万円	+62.5%
合　計		27億9,505万円	+0.4%

国庫支出金や地方債の発行による増収

令和2年度一般会計の歳入決算額は、113億6,775万円で、前年度と比較すると、15億9,410万円の増収となりました。

主な要因としては、特別定額給付金事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等による国庫支出金の増収や道の駅の整備等に係る地方債の発行による増収が挙げられます。

自主財源は全体の4割を下回る

一般会計の歳入は、町民の皆さんから納められた町税や町の施設を使った時に支払われる使用料等、町が自分の力で収入とした「自主財源」と、国や県から交付を受けた「依存財源」に分かれています。

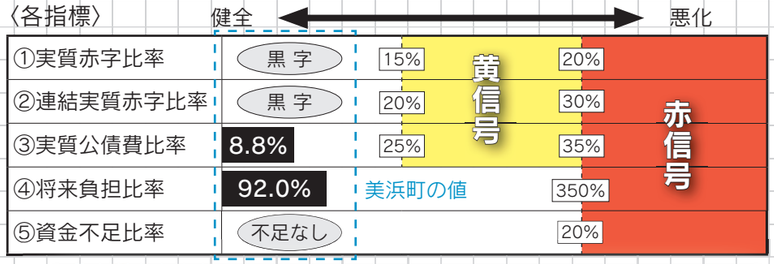
その割合を見ると、自主財源が前年度比5・8ポイント減の39・9%、依存財源が60・1%となっており、歳入の半分以上を国、県から交付されるお金や町債(借金)等で賄っている状況です。

自主財源の割合が大きいほど、行政活動の自主性と安定性が確保できるため、町では、今後も町税等の自主財源を増やすための施策に積極的に取り組んでいきます。

美浜町の財政状況は健全です

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、4つの財政指標と、公営企業会計（美浜町では、上水道事業、簡易水道事業、集落排水処理事業、公共下水道事業、産業団地事業、住宅団地事業が該当）の資金不足比率で、自治体の財政状況をチェックすることになっています。

令和2年度の決算に基づく算定の結果、美浜町はいずれの指標も基準値を下回っており、健全な財政が保たれています。



各指標の説明

①実質赤字比率
一般会計等（美浜町では一般会計、診療所事業、道路用地取得事業）の赤字から財政運営の深刻度をみる比率。美浜町では、一般会計等決算の実質収支（※2）が黒字となるため、比率は表記されません。

②連結実質赤字比率
すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率。美浜町では、全会計の実質収支が黒字となるため、比率は表記されません。

③実質公債費比率
借金の返済負担の重さを示す比率。

④将来負担比率
町が抱える負債の残額から将来財政への圧迫をみる比率。

⑤資金不足比率
公営企業会計の資金不足額から経営状況の深刻度をみる比率。美浜町では、6会計とも資金不足がないため、比率は表記されません。

（※2）歳入総額から歳出総額を差し引き、更に、次年度に繰り越して行う事業に必要な財源を差し引いたもの。

■令和2年度の主な事業

■美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業

[事業費] 6億1,244万円

美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅はまびより）の整備を行うため、事業用地の取得、造成工事等の実施設計、民間事業者による設計提案等に対するモニタリング業務を行いました。

また、JR美浜駅前広場の整備を行うため、事業用地の取得、測量及び実施設計を行いました。

はまびよりイメージ図

■三方五湖ゾーン整備事業

[事業費] 1億651万円

北陸新幹線敦賀開業に向け、再生可能エネルギーを活用した新たな遊覧船を就航させるため、電池推進実証船を建造し、三方五湖において安全性や耐久性、性能等を確認する実証実験を行いました。

また、遊覧船の発着施設の整備に向け、新美浜町レークセンター（仮称）の建設に向けた実施設計等を行いました。

電池推進実証船

新美浜町レークセンター（仮称）イメージ図

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計とは別に設けられている会計のことで、それぞれの会計が独自で収入・支出の経理をしています。町の特別会計は全部で10会計で、それぞれの決算額は次のとおりです。

会計	内容	歳入	歳出	差引額
診療所事業	東部診療所と丹生診療所を運営するための会計	1億1,206万円	1億1,202万円	4万円
国民健康保険事業	自営業の方や退職者等の医療費等を給付するための会計	12億8,322万円	11億8,219万円	1億103万円
後期高齢者医療事業	75歳以上の高齢者等の保険料を収納・納付するための会計	1億3,335万円	1億3,214万円	121万円
介護保険事業	介護保険の給付や高齢者の生活支援等を行うための会計	12億4,255万円	11億2,830万円	1億1,425万円
簡易水道事業	簡易水道施設の整備・管理を行うための会計	3億1,365万円	2億9,646万円	1,719万円
集落排水処理事業	集落排水処理施設の整備・管理を行うための会計	1億8,405万円	1億8,379万円	26万円
公共下水道事業	公共下水道施設の整備・管理を行うための会計	5億7,819万円	5億7,795万円	24万円
産業団地事業	産業団地の整備等を行うための会計	2億3,294万円	2億3,294万円	0円
住宅団地事業	住宅団地の整備や分譲促進を行うための会計	1億4,036万円	1,694万円	1億2,342万円
道路用地取得事業	国道27号交通安全事業にかかる道路用地取得を行うための会計	3億9,060万円	3億7,224万円	1,836万円

企業会計

企業会計は法律で設置が義務付けられている会計で、美浜町は、地方公営企業法の「水道の給水人口が5,000人を超える自治体」に該当するため、上水道施設の整備・管理を行う上水道事業会計を設けています。

会計		収入	支出	差引額
上水道事業	収益的収支(水道料等での収支)	1億5,755万円	1億4,432万円	1,323万円
	資本的収支(施設建設等の収支)	8,327万円	1億2,941万円	−4,614万円(※1)

（※1）資本的収支で不足した4,614万円は、将来、施設改修等のために保有している資金で補てんしました。

原子力発電所の立地に伴う交付金の活用状況

町には、原子力発電所が立地していることにより、国や県から「電源立地地域対策交付金」や「原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金」等が交付されています。町では、これらの交付金を活用して次のような事業を実施しました。

名称	交付金額	事業名	概要
電源立地地域対策交付金	9億1,395万円	・公共施設等維持運営事業 ・保育園運営事業 ・すくすく美浜っ子サポート事業　等	町内公共施設の職員人件費や光熱水費、管理委託料、保育園の職員人件費、子どもの医療費助成等に活用しました。
原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金	3億9,238万円	・簡易水道事業 ・給食センター施設設備更新事業　等	老朽化した配水管敷設替工事や上水道事業への統合に向けた配水管の敷設工事、給食センターの炊飯ラインシステムの更新工事等を行いました。
広報・調査等交付金	1,423万円	・原子力関連広報事業 ・原子力関連調査事業	原子力関連の広報誌等の発行や広報番組の放送、掲示板等の維持管理、町原子力環境安全監視委員会の開催、美浜発電所の視察調査や情報収集等を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策関連事業

町では、新型コロナウイルスの感染拡大防止や収益が落ち込む中小企業、更には住民への支援として、次のような事業を実施しました。

◎感染予防対策

■マスク全戸配布事業

[事業費] 1,882万円

県があっせんするマスクを町が一括購入し、全戸に配布しました。職員が手渡しでマスクを配布したことで、外出規制等の不安解消に寄与すると共に、マスク不足の解消による新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りました。

マスクを手渡す職員

◎住民支援

■特別定額給付金事業

[事業費] 9億4,107万円

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一環として、迅速かつ的確に家計への支援を行うことを目的に、世帯構成員 1 人につき 10 万円を給付しました。

■子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

[事業費] 1,235万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援することを目的に、児童手当の受給世帯（0 歳から中学生がいる世帯）に対し、臨時給付金を支給しました。

■子育て世帯応援事業

[事業費] 1,282万円

休校措置や登園の自粛要請により影響を受けた子育て世帯に商品券を発行し、生活を応援すると共に、地域における消費の喚起や下支えを行いました。

■ふるさと美浜「あいあいＢＯＸ」

[事業費] 98万円

町内への帰省を自粛している町外在住の学生を応援するため、町の特産品やマスク等を送付しました。

帰省自粛中の学生に送付した「あいあい BOX」

◎経済支援対策

■福井県経営安定資金への利子補給事業

[事業費] 5,826万円

福井県経営安定資金（新型コロナ対策分）を受けた町内中小事業者を対象に、町が全額利子補給を行いました。

また、次年度以降も継続して利子補給を行うため、基金を造成しました。

■美し美浜の観光を支えるがんばる美浜人応援事業

[事業費] 1,214万円

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、観光需要が低迷する中、危機的状況を乗り越え、更には回復期を見据えた前向きな取り組みを行う町内観光事業者の支援を行いました。

■がんばる美浜人応援商品券発行事業

[事業費] 9,818万円

町民の生活支援や地域における消費の喚起、下支えをすることを目的に、町内の店舗で利用可能な商品券を発行しました。

■「美し美浜の宿」お泊りキャンペーン事業

[事業費] 1,478万円

町内への宿泊旅行を促進するため、県のふくい de お泊りキャンペーン事業や国の Go To トラベル事業の実施に合わせ、町内の宿泊施設を利用した方に利用料金の一部を補助しました。

■要配慮者等屋内退避施設整備事業

[事業費] 2億9,223万円

万が一、原子力発電所で事故が発生して環境中へ放射性物質が放出された際に、要配慮者や住民等がその場に留まらざるを得ない場合に備え、美浜中央小学校（河原市）に放射線防護対策を実施しました。

また、当該施設での屋内退避に必要となる備蓄品や資機材を配備しました。

←外気を浄化して取り入れるためのフィルトリング装置

美浜中央小学校ドームテント（河原市）

GIGA スクール

■GIGAスクール整備事業

[事業費] 7,992万円

町内小中学校において、１人１台の学習用端末（タブレット端末）等と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備しました。

■庁舎改修事業

[事業費] 2億1,824万円

庁舎空調設備及び照明設備等の改修工事（庁舎南側系統）を行いました。従来設置されていた機器よりも消費電力が少ない設備の導入や、消費電力を管理する装置を導入したことにより、快適な庁内環境と地球温暖化対策に配慮した設備更新を行いました。

空調設備の室外機

児童向け大型遊具「ふわふわドーム」

■総合運動公園魅力度アップ再整備事業

[事業費] 5,317万円

総合運動公園内「にじいろパーク」に、児童向けの大型遊具「ふわふわドーム」や大人も利用可能な健康器具等を設置し、幼児から高齢者までの幅広い世代が交流できる拠点として再整備しました。

■農業人材育成拠点整備事業

[事業費] 1億9,255万円

新規就農者の確保・育成を図るため、研修施設や研修用ハウスの整備を行いました。

また、研修に必要となる備品を購入し、研修環境の整備を行いました。

美浜町農業人材育成拠点研修施設 研修用ハウス

美浜町農業人材育成拠点研修施設 研修棟